

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月29日

上場会社名 富士電機株式会社

上場取引所 東名福

 コード番号 6504 URL <https://www.fujielectric.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北澤 通宏

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 経営企画室長 (氏名) 木佐木 雅義 TEL 03-5435-7213

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	356,993	12.2	5,295	52.4	5,164	52.5	2,065	65.5
2020年3月期第2四半期	406,661	3.0	11,116	40.0	10,861	44.1	5,978	52.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 28,078百万円 (393.1%) 2020年3月期第2四半期 5,694百万円 (63.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	14.46	
2020年3月期第2四半期	41.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,065,130	427,617	36.3
2020年3月期	996,827	406,002	36.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 386,836百万円 2020年3月期 365,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		40.00		40.00	80.00
2021年3月期		40.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は定款において期末日を期末配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	870,000	3.4	41,000	3.6	42,500	4.5	27,500	4.5	192.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	149,296,991 株	2020年3月期	149,296,991 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,455,591 株	2020年3月期	6,454,259 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	142,842,260 株	2020年3月期2Q	142,845,056 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12
3. 補足情報	13
(1) 決算概要	13
(2) 連結子会社数・持分法適用会社数	13
(3) 1株当たり四半期(当期)純利益	13
(4) 平均為替レート(円)	13
(5) 部門別売上高	13
(6) 部門別営業利益	13
(7) 海外売上高	13
(8) 研究開発費	14
(9) 設備投資額	14
(10) 減価償却費、支払リース料	14
(11) 期末従業員数(定期社員除く)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は2019年度を起点に、創立100周年を迎える2023年度を最終年度とする5ヵ年中期経営計画「令和.Prosperty2023」をスタートさせ、成長分野であるパワエレシステム事業、パワー半導体事業へのリソース傾注や海外事業拡大等の成長戦略を推進しています。

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く市場環境は、世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外で投資抑制傾向が継続する等、厳しい状況が続きました。一方で、中国では経済活動の再開がいち早く進み、製造業の設備投資に持ち直しの動きもみられました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の連結業績の売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた企業活動の制約による設備投資抑制や納期延伸等の影響および前年同期の大口案件影響を受け、「電子デバイス」を除く4部門で需要が減少し、前年同期に比べ497億円減少の3,570億円となりました。

損益面では、原価低減及び固定費削減等を推進したものの、売上高、生産高の大幅な減少等により、営業損益は前年同期に比べ58億円減少の53億円、経常損益は前年同期に比べ57億円減少の52億円、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期に比べ39億円減少の21億円となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は次のとおりです。

(単位：億円)

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	増 減
売上高	4,067	3,570	△497
営業損益	111	53	△58
経常損益	109	52	△57
親会社株主に帰属する 四半期純損益	60	21	△39

部門別の状況

《パワエレシステム エネルギー》

売上高：818億円（前年同期比 17%減少） 営業損益：16億円（前年同期比 20億円減少）

エネルギーマネジメント分野及び器具分野の需要減少を主因に売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

- ・エネルギーマネジメント分野は、産業向け電源機器及びスマートメータの需要減少により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。
- ・施設・電源システム分野は、施設電機及び電機盤の前年同期大口案件影響により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。
- ・器具分野は、工作機械をはじめとする国内の機械セットメーカーならびに受配電盤メーカーの需要減少により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

《パワーエレクトロニクス インダストリー》

売上高：1,282億円（前年同期比 8%減少） 営業損益：2億円（前年同期比 9億円増加）

ITソリューション分野の前年同期の大口案件の影響を主因に売上高は前年同期を下回りましたが、原価低減等の推進により、営業損益は前年同期を上回りました。

- ・オートメーション分野は、船舶用排ガスシステムの需要が増加し、中国においては低圧インバータおよびFAコンポーネントの需要が増加したものの、国内その他分野で需要が低調に推移し、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。
- ・社会ソリューション分野は、鉄道車両用電機品の大口案件増加等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・設備工事分野は、設備投資計画の延期や前年同期の電気設備工事の大口案件影響等により、売上高は前年同期を下回りましたが、原価低減等の推進により、営業損益は前年同期を上回りました。
- ・ITソリューション分野は、前年同期の大口案件の影響により、売上高は前年同期を下回りましたが、案件差等により、営業損益は前年同期と同水準となりました。

《電子デバイス》

売上高：724億円（前年同期比 10%増加） 営業損益：63億円（前年同期比 3億円増加）

- ・電子デバイス分野は、電気自動車（xEV）向けおよび新エネルギー市場向けのパワー半導体の需要増加により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

《食品流通》

売上高：377億円（前年同期比 31%減少） 営業損益：△26億円（前年同期比 55億円減少）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う設備投資抑制や納期延伸等により、自販機分野及び店舗流通分野の需要が減少し、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

- ・自販機分野は、国内飲料メーカーの営業活動自粛及び設備投資の減少ならびに中国の需要減少により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。
- ・店舗流通分野は、コンビニエンスストア向け店舗設備機器等の需要減少、及び改装工事の一部中止・延伸により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

《発電プラント》

売上高：327億円（前年同期比 22%減少） 営業損益：11億円（前年同期比 3億円増加）

- ・発電プラント分野は、前年同期の火力発電設備の大口案件影響により売上高は前年同期を下回りましたが、営業損益は案件差等により、前年同期を上回りました。

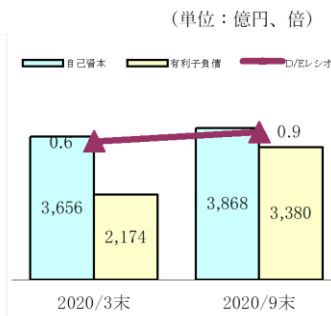
《その他》

売上高：251億円（前年同期比 18%減少） 営業損益：8億円（前年同期比 4億円減少）

(2) 財政状態に関する説明

	2020/3 末	構成比 (%)	2020/9 末	構成比 (%)	増減
総資産	9,968	100.0	10,651	100.0	+683
有利子負債残高	2,174	21.8	3,380	31.7	+1,206
自己資本	3,656	36.7	3,868	36.3	+212
D/Eレシオ	0.6		0.9		+0.3

*自己資本=純資産合計-非支配株主持分
*D/Eレシオ=有利子負債残高/自己資本



当第2四半期末の総資産は10,651億円となり、前期末に比べ683億円増加しました。流動資産は、売上債権が減少した一方、現金及び預金、たな卸資産の増加などを主因として、466億円増加しました。固定資産は、その他有価証券の時価評価差額相当分の増加などにより、217億円増加しました。

有利子負債残高は、当第2四半期末では3,380億円となり、前期末に比べ1,206億円の増加となりました。なお、有利子負債残高から現金及び現金同等物を控除したネット有利子負債残高は、当第2四半期末では1,833億円となり、前期末に比べ296億円の増加となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、当第2四半期末では4,276億円となり、前期末に比べ216億円の増加となりました。なお、純資産合計から非支配株主持分を控除した自己資本は前期末に比べ212億円増加し、3,868億円となりました。D/Eレシオ（「有利子負債残高」÷「自己資本」）は、前期末に比べ0.3ポイント増加の0.9倍となりました。なお、ネットD/Eレシオ（「ネット有利子負債残高」÷「自己資本」）は、前期末に比べ0.1ポイント増加の0.5倍となっております。

当第2四半期連結累計期間における連結ベースのフリー・キャッシュ・フロー（「営業活動によるキャッシュ・フロー」＋「投資活動によるキャッシュ・フロー」）は、130億円の資金の減少（前年同期は226億円の減少）となり、前年同期に対して96億円の好転となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動による資金の減少は21億円（前年同期は13億円の増加）となりました。これは、売上債権が減少した一方で、たな卸資産が増加し、仕入債務が減少したことなどを主因とするものです。

前年同期に対しては、34億円の悪化となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動による資金の減少は108億円（前年同期は238億円の減少）となりました。これは、有形固定資産の取得を主因とするものです。

前年同期に対しては、130億円の好転となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金の増加は1,043億円（前年同期は168億円の増加）となりました。これは主として、コマーシャル・ペーパーの増加並びに長期借入金の増加によるものです。

これらの結果、当第2四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前期末残高に対して909億円増加し、1,547億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年5月29日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において、2021年3月期の連結業績予想を未定としておりましたが、下記のとおりお知らせいたします。

なお、為替レートは、102円/US\$、120円/EURO、15円/RMBを前提としています。

(2021年3月期通期 連結業績見通し)

(単位：億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 見通し	増減
売上高	9,006	8,700	△306
営業損益	425	410	△15
経常損益	445	425	△20
親会社株主に帰属する 当期純損益	288	275	△13

(参考：部門別)

(単位：億円)

	2020年3月期 実績		2021年3月期 見通し		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワエレシステム エネルギー	2,180	123	2,020	96	△160	△27
パワエレシステム インダストリー	3,175	165	3,360	185	185	20
電子デバイス	1,374	97	1,420	129	46	32
食品流通	1,044	38	940	6	△104	△32
発電プラント	1,099	23	870	39	△229	16
その他	608	27	530	16	△78	△11
消去または全社	△475	△49	△440	△61	35	△12
合計	9,006	425	8,700	410	△306	△15

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,073	155,887
受取手形及び売掛金	294,504	226,172
商品及び製品	66,866	71,847
仕掛品	67,875	82,453
原材料及び貯蔵品	53,371	54,241
その他	51,599	54,398
貸倒引当金	△2,597	△2,671
流動資産合計	595,692	642,328
固定資産		
有形固定資産	201,892	202,714
無形固定資産	24,606	22,911
投資その他の資産		
投資有価証券	128,289	163,089
退職給付に係る資産	15,083	15,308
その他	31,566	19,095
貸倒引当金	△422	△419
投資その他の資産合計	174,517	197,074
固定資産合計	401,016	422,699
繰延資産	118	102
資産合計	996,827	1,065,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	179,914	133,925
短期借入金	21,342	21,755
コマーシャル・ペーパー	51,500	127,000
1年内償還予定の社債	15,000	—
未払法人税等	6,625	3,293
前受金	47,203	41,987
その他	101,574	80,829
流動負債合計	423,160	408,791
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	38,604	97,496
役員退職慰労引当金	193	152
退職給付に係る負債	50,011	51,819
その他	43,855	44,254
固定負債合計	167,664	228,722
負債合計	590,825	637,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,586	47,586
資本剰余金	45,949	46,002
利益剰余金	241,305	237,624
自己株式	△7,327	△7,331
株主資本合計	327,513	323,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,606	69,310
繰延ヘッジ損益	△231	99
為替換算調整勘定	△3,545	△4,354
退職給付に係る調整累計額	△2,724	△2,100
その他の包括利益累計額合計	38,105	62,955
非支配株主持分	40,382	40,780
純資産合計	406,002	427,617
負債純資産合計	996,827	1,065,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	406,661	356,993
売上原価	308,113	268,559
売上総利益	98,548	88,433
販売費及び一般管理費	87,431	83,138
営業利益	11,116	5,295
営業外収益		
受取利息	123	141
受取配当金	1,541	1,559
その他	575	489
営業外収益合計	2,240	2,190
営業外費用		
支払利息	678	723
持分法による投資損失	568	437
為替差損	953	546
その他	294	614
営業外費用合計	2,495	2,321
経常利益	10,861	5,164
特別利益		
固定資産売却益	206	39
投資有価証券売却益	207	248
特別利益合計	414	287
特別損失		
固定資産処分損	298	245
投資有価証券評価損	429	—
損害補償損失	421	—
特別損失合計	1,149	245
税金等調整前四半期純利益	10,126	5,206
法人税等	3,193	2,164
四半期純利益	6,933	3,042
非支配株主に帰属する四半期純利益	954	977
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,978	2,065

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	6,933	3,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,191	24,857
繰延ヘッジ損益	△214	330
為替換算調整勘定	△4,768	△673
退職給付に係る調整額	493	590
持分法適用会社に対する持分相当額	59	△68
その他の包括利益合計	△1,238	25,036
四半期包括利益	5,694	28,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,406	26,914
非支配株主に係る四半期包括利益	288	1,164

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,126	5,206
減価償却費	15,109	17,274
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△19	67
受取利息及び受取配当金	△1,664	△1,701
支払利息	678	723
為替差損益 (△は益)	8	148
固定資産売却損益 (△は益)	△206	△39
投資有価証券売却損益 (△は益)	△207	△248
固定資産処分損益 (△は益)	298	245
投資有価証券評価損益 (△は益)	429	—
売上債権の増減額 (△は増加)	39,872	68,598
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28,880	△20,455
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25,722	△46,142
前受金の増減額 (△は減少)	12,218	△5,213
その他	△12,908	△16,385
小計	9,132	2,078
利息及び配当金の受取額	1,678	1,709
利息の支払額	△663	△708
法人税等の支払額	△8,861	△5,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,286	△2,122
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,739	△10,076
有形固定資産の売却による収入	471	329
投資有価証券の取得による支出	△622	△16
投資有価証券の売却による収入	303	436
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△9,413	—
貸付けによる支出	△3,164	△1,302
貸付金の回収による収入	3,072	1,600
その他	△1,755	△1,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,847	△10,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△826	△2,396
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	34,000	75,500
長期借入れによる収入	15,798	62,000
長期借入金の返済による支出	△17,862	△337
社債の償還による支出	—	△15,000
リース債務の返済による支出	△6,877	△8,710
自己株式の取得による支出	△4	△4
配当金の支払額	△5,713	△5,713
非支配株主への配当金の支払額	△1,422	△1,132
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△242	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	105
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,849	104,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	△758	△415
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,470	90,930
現金及び現金同等物の期首残高	29,134	63,746
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	17
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,664	154,694

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、見積実効税率が使用できない一部の連結会社については法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の拡大により、各国で過去に前例のない規模で経済活動が制限される中、当社グループにおいても納期延伸、設備投資抑制等の影響を受けております。本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期を予想することが非常に困難なことから、当第2四半期末時点で入手可能な情報に基づき、当連結会計年度の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	パワーエ レシ ステム エ ネ ルギー	パワーエ レシ ステム イ ン ダ ス トリー	電子デバ イス	食品流通	発電プラ ント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高									
外部顧客への 売上高	97,009	133,538	64,315	54,523	41,778	15,495	406,661	-	406,661
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,094	5,164	1,473	163	55	15,222	23,173	△23,173	-
計	98,103	138,703	65,788	54,687	41,834	30,718	429,835	△23,173	406,661
セグメント利益 又は損失(△)	3,630	△664	5,989	2,920	799	1,150	13,826	△2,710	11,116

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融サービス、不動産業、保険代理業、旅行業及び印刷・情報サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,710百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,755百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	パワーエ レシ ステム エ ネ ルギー	パワーエ レシ ステム イ ン ダ ス トリー	電子デバ イス	食品流通	発電プラ ント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高									
外部顧客への 売上高	80,546	122,869	70,880	37,535	32,536	12,625	356,993	-	356,993
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,241	5,355	1,566	120	122	12,435	20,842	△20,842	-
計	81,787	128,224	72,447	37,655	32,659	25,060	377,836	△20,842	356,993
セグメント利益 又は損失(△)	1,597	186	6,323	△2,581	1,099	750	7,374	△2,079	5,295

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融サービス、不動産業、保険代理業、旅行業及び印刷・情報サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,079百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,078百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

(8) 研究開発費

	2019年度						2020年度					
	第2四半期実績		第2四半期累計実績		年間実績		第2四半期実績		第2四半期累計実績		年間予想	
		前年同期比		前年同期比		前期比		前年同期比		前年同期比		前期比
パワーエレクトロニクスシステム	18	477.9%	33	167.8%	71	127.6%	16	90.8%	30	90.7%	69	97.0%
パワーエレクトロニクスシステム インダストリー	23	89.4%	44	93.7%	87	93.7%	24	107.4%	45	103.2%	93	106.4%
電子デバイス	27	93.4%	54	95.5%	109	98.4%	26	96.8%	50	93.6%	108	99.3%
食品流通	12	104.2%	22	105.6%	44	100.9%	12	101.4%	21	97.1%	43	97.7%
発電プラント	8	86.4%	14	93.2%	33	100.5%	8	100.4%	13	91.2%	32	96.6%
その他の他	0	-	0	-	1	-	0	-	0	-	0	-
合計	86	111.2%	167	105.3%	345	102.3%	86	99.1%	159	95.6%	344	100.0%
対売上高比率 (%)	3.7%	-	4.1%	-	3.8%	-	4.6%	-	4.5%	-	4.0%	-

(9) 設備投資額

	2019年度						2020年度					
	第2四半期実績		第2四半期累計実績		年間実績		第2四半期実績		第2四半期累計実績		年間予想	
		前年同期比		前年同期比		前期比		前年同期比		前年同期比		前期比
パワーエレクトロニクスシステム	18	134.3%	30	150.5%	85	129.9%	16	89.6%	33	109.2%	83	98.5%
パワーエレクトロニクスシステム インダストリー	11	76.8%	18	82.2%	43	101.2%	8	67.7%	14	76.8%	45	104.1%
電子デバイス	78	136.0%	147	177.1%	313	111.4%	56	71.8%	97	66.2%	214	68.4%
食品流通	5	120.1%	7	106.1%	23	99.5%	3	64.8%	6	80.1%	18	77.0%
発電プラント	3	131.8%	3	129.3%	10	94.8%	3	106.4%	4	129.6%	10	100.1%
その他の他	2	41.1%	4	57.8%	8	75.1%	4	221.4%	6	135.3%	9	119.8%
合計	116	121.0%	210	148.3%	482	111.2%	90	77.2%	160	76.1%	380	78.8%
内リース取得等	70	184.7%	133	221.9%	291	141.3%	50	70.9%	81	60.7%	183	62.9%

(注) 設備投資額には、リース契約による設備取得額を含みます。

(10) 減価償却費、支払リース料

	2019年度						2020年度					
	第2四半期実績		第2四半期累計実績		年間実績		第2四半期実績		第2四半期累計実績		年間予想	
		前年同期比		前年同期比		前期比		前年同期比		前年同期比		前期比
パワーエレクトロニクスシステム	12	100.9%	25	100.9%	51	101.2%	12	98.8%	24	98.5%	53	103.8%
パワーエレクトロニクスシステム インダストリー	10	93.3%	20	94.5%	42	96.0%	11	103.7%	21	104.0%	44	106.7%
電子デバイス	35	102.2%	69	102.2%	154	114.0%	45	127.7%	88	128.3%	184	119.6%
食品流通	5	90.7%	10	92.6%	22	95.0%	5	100.2%	11	104.4%	22	101.9%
発電プラント	3	92.9%	6	94.8%	12	95.9%	3	106.2%	6	102.8%	12	104.6%
その他の他	3	96.3%	5	95.2%	11	95.1%	2	90.5%	5	90.8%	9	83.1%
合計	69	98.9%	135	99.4%	291	105.7%	78	114.5%	155	114.9%	325	111.7%
内支払リース料	3	100.4%	5	99.8%	10	100.6%	3	97.7%	5	100.0%	12	109.8%

(注) 減価償却費は、有形固定資産の減価償却費です。

(11) 期末従業員数(定期社員除く)

(単位:人)

	2019年度			2020年度		
	第2四半期実績	第2四半期累計実績	年間実績	第2四半期実績	第2四半期累計実績	年間予想
パワーエレクトロニクスシステム	6,688	6,688	6,676	6,712	6,712	6,696
パワーエレクトロニクスシステム インダストリー	8,482	8,482	9,129	9,199	9,199	9,236
電子デバイス	6,722	6,722	6,621	6,630	6,630	6,523
食品流通	2,395	2,395	2,346	2,301	2,301	2,305
発電プラント	1,244	1,244	1,224	1,237	1,237	1,211
その他の他	1,997	1,997	1,964	1,996	1,996	1,998
合計	27,528	27,528	27,960	28,075	28,075	27,969
国内	17,863	17,863	17,681	17,968	17,968	17,853
海外	9,665	9,665	10,279	10,107	10,107	10,116